

鎌倉市 市庁舎現在地利活用 基本計画

中間取りまとめ

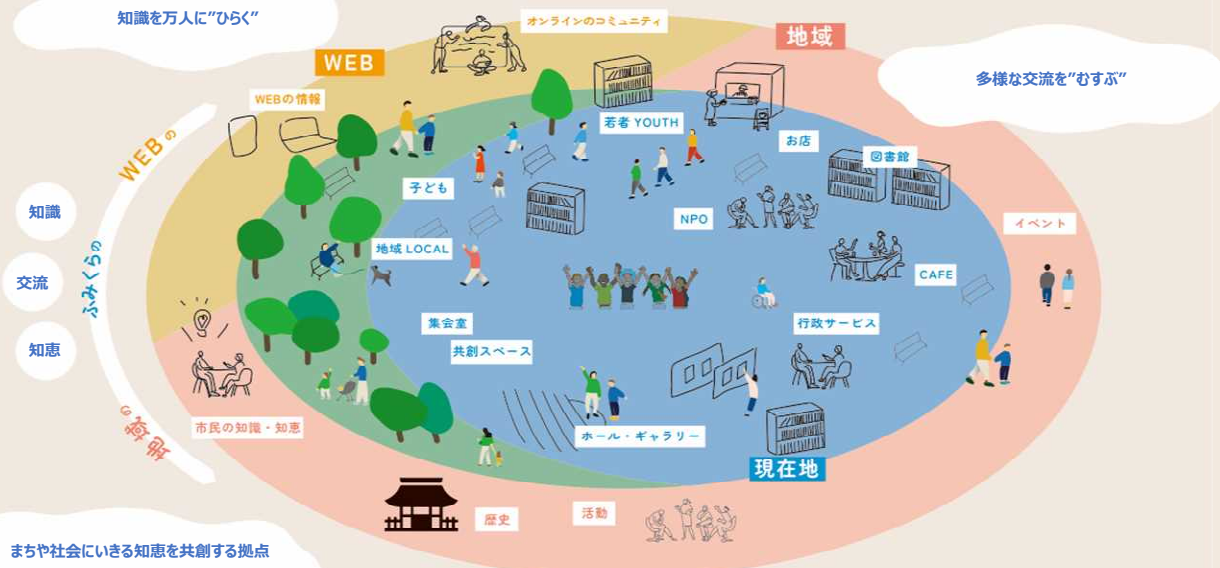
ビジョン-基本理念-

ひらいて むすんで 知恵をうむ “ふみくら”

鎌倉の拠点である市庁舎現在地は、手続や相談といった行政サービス機能を維持します。その上で、先人から受け継いだ情報や知識が万人にひらかれ、多様性の視点で人・物・事の交流をむすぶ、まちや社会にいきる“知恵”を共創する拠点となるようハード・ソフトともに充実します。情報あふれる図書館を中心に手続や相談、防災も支える、学びあい、交流しあえる拠点とします。

「ふみくら」(文庫)は、資料を整理して保管する建物を意味する言葉で、その起源は古く、奈良時代にさかのぼります。鎌倉時代には、武家文化における幕府等の資料を保管したものや御家人などの屋敷にも「ふみくら」が設けられており、書写などの活動も行われた場であったそうです。

歴史・文化をつむぐ、鎌倉の知識の蓄積の場、まちとつながり、人と情報の交流が結節し、学びや共創の場として生まれかわるこの拠点は、歴史・文化を次の世代に引き継ぐ場であり、まさに「ふみくら」です。



本資料は中間取りまとめのイメージをお示したものです

これまでの検討内容をA3両面程度でまとめる予定です

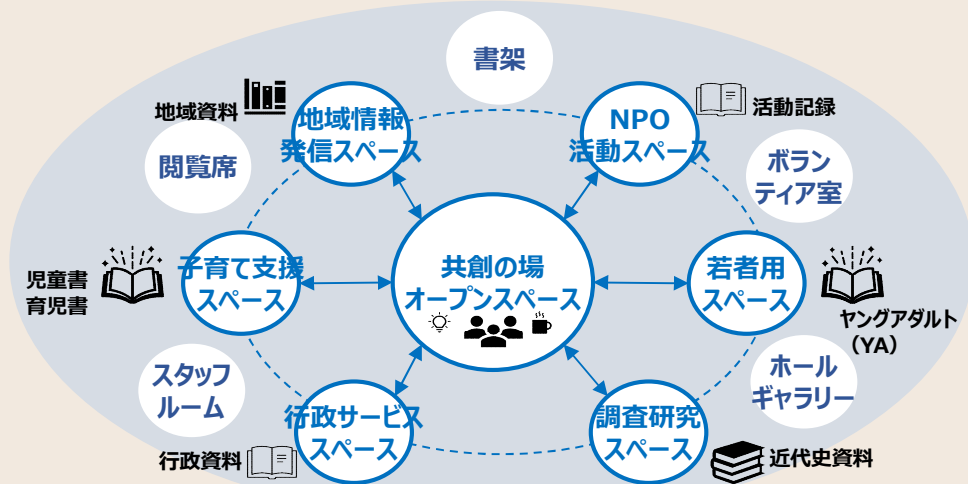
※中間取りまとめは検討中の内容や状況を広く周知するために作成するもので、基本計画の策定はパブリックコメントを経て令和5年度末を予定しています。

ふみくらが提供するサービス

ふみくらでは、地域を魅力的にする新しいアイデア。困っているあの人を助ける新しいプロジェクト。最先端の技術を生かした新しいビジネス。生きがいを与える新しいコミュニティなどを創造していきます。

ひらく	多様な知識の集積、可視化に取り組み、広く提供する	<ul style="list-style-type: none"> 現中央図書館が保管する書籍や歴史文化資料の引継ぎ・継承 様々な資料の収集・公開・提供 市内にいきる豊富な知識・知恵(場・資料・人)の集積・可視化 歴史・文化・観光情報の収集と発信 歴史・文化・観光・産業など、様々なテーマのプログラム(講座やワークショップ)の実施 など
むすぶ	自らが望む形で社会との関わりがもてるよう、人・モノ・知恵・活動をむすび、一人ひとりの暮らしを豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動への場の提供 様々な活動のネットワーク化 様々な活動に参加するきっかけづくり 多様な主体が活動できる共創スペースの運営 など
知恵をうむ	ひらく・むすぶから絶え間なく価値を創るための継続的な支援をする	<ul style="list-style-type: none"> ひらく・むすぶから生まれた知恵の集積・可視化 暮らしを豊かにする新たなサービスやプロジェクトを創出するための支援 地域活動や起業などの意識醸成 など
<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体と連携し、一人ひとりの日常生活を支える 全ての活動の基盤となる情報リテラシーの向上を支援する 		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに寄り添った相談や支援 社会包摂(ソーシャル・インクルージョン)に取り組むNPO等との連携 災害時の対応 など 情報リテラシーに関する研修、講座の開催 デジタルを体験する・楽しむ機会の提供 行政手続きに関する支援 など
全ての基盤として		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>図書館機能</div> <div>生涯学習機能</div> <div>行政サービス機能</div> <div>歴史観光発信機能</div> <div>NPOセンター機能</div> <div>防災機能</div> </div>		

ふみくらの空間イメージ(人と活動と情報が紐付き混ざる)



複合化の方針

従来の複合化イメージ	ふみくらの複合化イメージ	災害時の複合化イメージ
各機能は基本的には独立しており、共用部の統合により効率化が図られる	図書館を核として全体を一体的に計画する。	災害時にはスペースを活用して、防災活動拠点や避難者対応ができるように計画する。
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>トイレ、階段、機械室等</div> <div>NPOセンター</div> <div>歴史・観光</div> <div>図書館</div> <div>行政サービス</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>トイレ、階段、機械室等</div> <div>図書館+関連機能(NPO、わかたま、歴史観光等含む)</div> <div>行政サービス</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>トイレ、階段、機械室等</div> <div>災害対応スペース(避難者対応など)</div> <div>防災活動拠点</div> </div>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>共用部(エントランスホール、廊下)</div> <div>ギャラリー</div> <div>集会室</div> <div>ホール</div> <div>防災</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>共用部(エントランスホール、廊下)</div> <div>ギャラリー</div> <div>集会室</div> <div>ホール</div> <div>防災</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>共用部(エントランスホール、廊下)</div> <div>災害対応スペース(避難者対応など)</div> <div>防災</div> </div>

鎌倉市 市庁舎現在地利活用 基本計画

中間取りまとめ

導入機能と施設規模

機能	主なスペース
中央図書館機能	書架スペース、閲覧スペース、図書館事務室、書庫
生涯学習機能	ホール、ギャラリー 集会室
行政サービス機能	ホール、ホワイエ、楽屋、ギャラリー 集会室、音楽室、和室、美術創作室
歴史・文化・観光情報発信機能	展示スペース
NPOセンター機能	会議室、市民活動スペース、ボランティアスペース
防災機能	備蓄倉庫、防災活動拠点、災害対応スペース
共創機能	共創スペース、ユース活動スペース、デジタルアーカイブスペース

多様な活動の場を設けます

“ふみくら”が機能するために、共創スペース、市民活動スペース、ボランティアスペース、情報発信スペースなどを、可能な限り確保します。

中央図書館機能を充実します

知識をひらく図書館を実現するために、書架スペースや閲覧スペースなどを、可能な限り確保します。

十分な行政手続・相談機能を確保します

現在の市役所1階で提供する主な手続・相談について、手続スペースや相談スペースを可能な限り確保します。

複合化による効率的な施設運営を目指します

多世代が多目的に利用できる多機能な施設に転換・複合化することで、提供するサービスの量や質は維持しながら面積効率のよい施設運営を目指します。

市民対話・イベント(周知・意見聴取)

市民対話「まちづくりをはじめよう！」鎌倉の新しい拠点“ふみくら”を共に創る



日時	令和5年5月27日(土) 午前の部 10:00-12:30 午後の部 13:30-16:00
参加者数	延べ55名
内容	現在のビジョンである「ふみくら」について共有したうえで、参加者一人ひとりが思い描く「ふみくら」を、中央図書館で不要になった本を活用し本のタイトルや表紙などへの工作を通じて表現しました
結果	・小学生から50代まで幅広い年代の方に参加いただき、親子での参加も多く見られました ・ふみくらが「まちと出会いなおす場所」「大人も子供も、仲良くなってまた会おうねとなれる場所」など、様々な意見を聴取することができました



イベント「ONE DAY PLAYPARK」

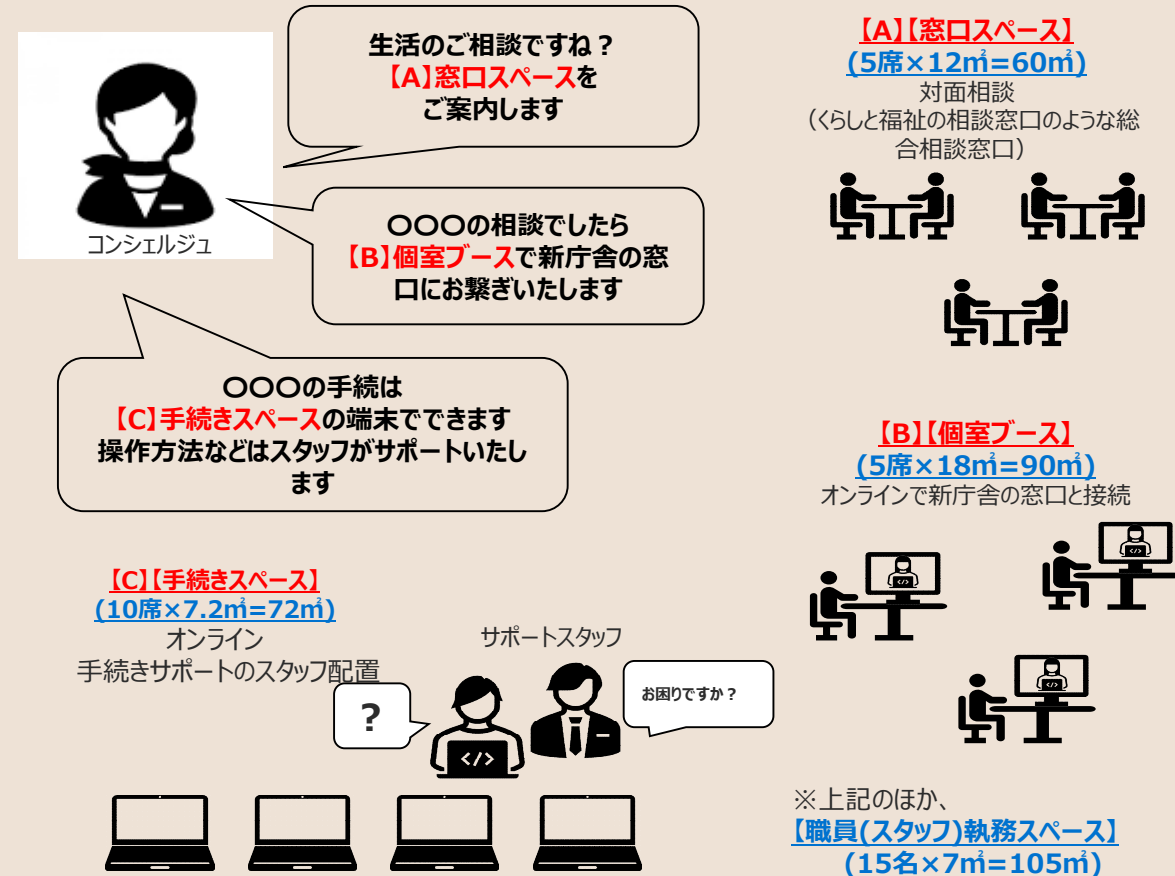


日時	令和5年5月27日(土) 10:00-16:00
来場数	約2,500名
内容	現在の本庁舎敷地などを活用して、市民が将来の現在地利活用における未来の行政施設やサービスを体感することで、現在地利活用について理解、共感をしていただく機会として開催しました
結果	・子ども連れの家族での来場が多く見られました ・10代以下から70代以上まで様々な年代の方に来場いただきました ・様々な団体や企業、大学、市民の皆さんの協力を得ながら、現在地利活用の可能性を理解、共感いただける共創による取組となりました ・会場に設置したアンケートボードには、主に小中学生からたくさんの方のアイデアをいただきました



行政サービス(手続・相談)の提供

現在の市役所1階で対応している主な手続や相談機能については、オンラインも活用しながら【A】～【C】のいずれかの方法で対応し、利活用後の現在地で「できない手続きはない」状態を目指します。



分野	手続・相談例
住民登録	証明書発行、転出届など
税	市税関係諸証明等の交付、納付に関する相談など
子育て	児童手当、子育て相談など
福祉	障害福祉、生活保護に関する相談など
環境	ごみ処理機購入費助成、転入時のごみの分け方・出し方案内など
地域	地域活動支援、自治会・町内会の相談など
総合相談	くらしと福祉の相談窓口のような生活に関わる相談など

・法的もしくは物理的に、一部の手続は新庁舎での対応とならざるをえない可能性があります。オンラインの活用により、現在地でも引き続き対応できる施設整備（ハード）と運営（ソフト）を目指していきます。
・オンラインに対応できない方にも、コンシェルジュやサポートスタッフを配置し、安心して手続・相談が行えるようにします。
・自治会・町内会などの地域支援や、赤い羽根募金などの支所が担っている機能は、現在地でも担うことを想定しています。

今後の検討事項

- 整備手法
- 事業手法
- 民間施設部分の機能 等